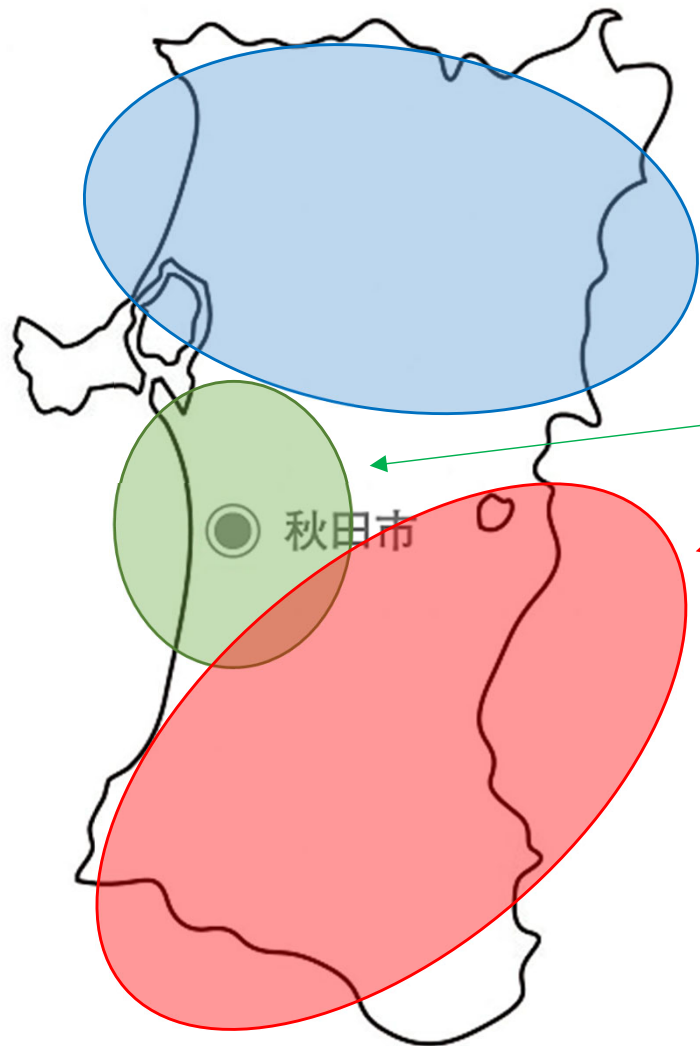


2024年3月2日  
オープンデータ最前線2024  
説明用資料

# 秋田県におけるGTFSデータの整備と デジタル化の取組について

秋田県観光文化スポーツ部交通政策課  
大塚 智哉

# 秋田県の概況



■ 主な乗合バス事業者: 3事業者

・**県北** 秋北バス(株)

・**中央** 秋田中央交通(株)

・**県南** 羽後交通(株)

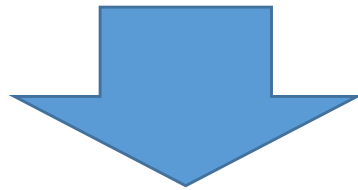
■ 市町村数: 25市町村

■ 県人口: 約90万人

■ 人口減少、高齢化率等  
全国ワースト

# 秋田県のGTFSデータ整備のきっかけと背景

- 令和2年度、地域公共交通活性化再生法の改正と合わせて、地域公共交通計画の作成と国庫補助金が連動化
- 国際教養大学 豊田先生により、県内全路線のデータ作成済み。しかもGoogleにも登録済み。



地域公共交通計画の策定に合わせて

- ・GTFSデータ作成・管理体制の構築
- ・データを活用した利用促進施策を推進

# 取組1 市町村や交通事業者との連携体制の強化

- 令和3年度、既存の秋田県地域公共交通活性化協議会に「デジタル部会」を設置。  
【構成員】運輸支局、県、市町村、バス事業者、業界団体
- 令和3年7月 キックオフセミナー開催  
【講師】諸星賢治氏、三浦公貴氏
- 令和4年度以降、定期的に事業者、市町村、業界団体を対象に勉強会を開催  
⇒ 様々なデジタル技術を活用した利便性向上等に資する取組などについて情報共有・意見交換

## 取組2 バス運行情報のオープンデータ化

- バスの運行主体であるバス事業者・市町村が、GTFSデータを作成・更新する体制の構築を図る。
- 令和3年度からデータ作成手法や活用方法を習得するための講座を開催
  - 系統の少ない自治体向け  
⇒「見える化共通入力フォーマット」
  - バス事業者、系統の多い自治体向け  
⇒「その筋屋」
  - 講師  
諸星賢治氏(R3～) 三浦公貴氏(R3、R5)  
水野羊平氏(R4)

# 取組3 作成したGTFSデータの活用①

## ■ デジタルサイネージによる情報発信（臨時交付金を活用）



〔JR秋田駅西口バスターミナル〕



〔JR田沢湖駅構内〕



〔地元スーパー〕

# 取組3 作成したGTFSデータの活用②

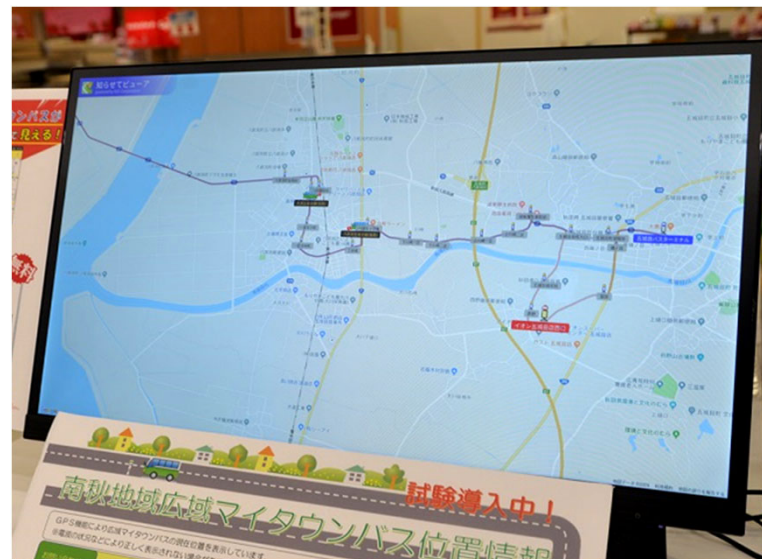
## ■ バスロケーションシステムによる位置情報の発信



〔バス予報〕



〔いちごロケ〕



〔知らせてビューア〕

## 取組4 補助金との連動化①

- 県内のGTFSデータ整備状況(令和5年3月末)  
事業者 3/3(100%) 市町村 14/18(78%)
- 令和5年10月～  
県単バス補助金交付要綱改正
  - ①生活バス路線維持費等補助金(事業者路線)
  - ②マイタウン・バス運行費等補助金(市町村路線)
  - ③地域内フィーダー系統確保維持費補助金※補助金の交付先は3つとも市町村

⇒事業者路線のみならず市町村運行路線も含めてオープンデータ化を交付要件に追加



## 取組4 補助金との連動化②

### 〔要件化の詳細〕

- 「区域型デマンド交通」以外は原則作成・公開
- 1年間猶予期間を設けて施行は令和6年10月～
- 取組を始めた当初から補助要件化の方針を伝達

### 〔期待される効果〕

- 最新のデータが公開される
- データの活用策が展開しやすくなる

# 課題・今後の方針

## 〔主な課題〕

- 体制の維持・強化
- データ活用の推進

## 〔方針〕

- 全市町村、事業者におけるデータ整備に向けた地道な働きかけ
- デジタル化における当面の目標  
⇒バスロケの導入  
(降雪期におけるバスの遅延が顕著)

ご清聴ありがとうございました。